

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 5 年 6 月 21 日 報告者：明壁 均

行事種別	研究会	行事番号	230000937
開催日	令和 5 年 6 月 3 日 (土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	小牧市民病院 講堂 所在地 小牧市		
テーマ	不妊治療の保険適応～1年後の現状～		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	豊橋市民病院 鈴木 範子 技師		
講 師	① 小牧市民病院 藤田 京子 ② 八千代病院 小笠原 恵		
内 容	2022 年 4 月から不妊治療の公的医療保険適応を体外受精などに拡大し約 1 年が経過しました。保険診療の基礎や昨年度の発表から出てきた問題、課題点等を二つの施設の方に発表して頂きました。 不妊治療の内容と、今回の改正で保険診療適応の項目を確認した。 保険診療になったことにより、治療件数の微増がありました。①自己負担額の軽減②治療の標準化③助成制度の廃止④適用外の薬や治療⑤研究が停滞する可能性があると考えられる。患者主体で治療が進められるようになった。 不妊治療に対する社会的理解が良くなった。若い世代の負担が減り治療を受けやすくなった。と患者さんからの感想が寄せられているそうです。 小牧市民病院では、保険診療開始前年の 2022 年には助成制度がなくなるといけなからと治療件数の増加があったそうです。八千代病院では、治療計画書の作成、UMIN の ART オンライン登録へのデータ入力などの事務的作業の増加を感じているそうです。また高額療養費制度の利用者の増大もあるそうです。 問題として、患者さんの 43 歳の壁、凍結胚更新期間、他院への凍結胚輸送など。課題として、技術の維持、先進医療の方向性、着床前診断についてなどをあげられました。 発表の後、活発の質疑応答が行われました。 終了後、小牧市民病院のご厚意で不妊治療センターの見学をさせていただきました。		
参加者	総数：14 名（会員 10 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 4 名、その他 0 名、）・申込総数：13 名		
共催、後援など	無		

2022.10.12

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 5 年 9 月 5 日 報告者：伊藤 裕安

行事種別	講演会	行事番号	230008137
開催日	令和 5 年 9 月 2 日(土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	小牧市民病院 講堂 所在地：小牧市		
テーマ	① Q&A ～素朴な疑問にお答えします～ ② 明日の生殖医療を担う胚培養士の育成・教育を考える！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	藤田医科大学病院 古川 博 技師		
講 師	① トヨタ記念病院 平松 博子 ② 藤田医科大学 病態モデル先端医学研究センター 教授/センター長 長尾 静子 岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科 准教授 天川雅夫		
内 容	【Q&A ～素朴な疑問にお答えします】 ① 人工授精にステップダウンされる方が多いと思いますが人工授精は何歳でも保険診療でしょうか ② 凍結胚の保存で保険開始前後の保存期限について。 ③ 保険適用前後で胚盤胞の凍結基準の変化があったが変更した施設はありますか ④ 検卵後の医師への報告はどのように実施していますか 前回の研究会にて回収した質問を中心に生殖医療に関わる疑問を 4 題 Q&A 方式で平松先生の施設の現状を踏まえ解説していただきました。 受講者にとっても自施設と比べることができ参考になったと思われます。 【明日の生殖医療を担う胚培養士の育成・教育を考える！】 ① 病態モデル先端医学研究センター 教授/センター長 長尾 静子 藤田医科大学大学院胚培養育成コースにおける高度な知識・技術習得への現状と未来についての内容で 1 年次の基礎・演習、2 年次の臨床・演習と高度な知識技術習得への現状と未来について講演していただきました。		

	② 岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科 准教授 天川雅夫 1. どうして生殖補助医療教育に携わるようになったか 2. 香川県立保健医療大学での導入（生殖医療） 3. 純真学園大学（新設大学）での導入（生殖医療） 4. 岐阜医療科学大学での導入 5. 今後の教育 天川雅夫先生の新人臨床検査技師から現在の教育者になって、現在の問題点と課題や今後に期待される事を施設の写真やスライドを作成していただきわかりやすく説明していただきました。
参加者	総数：22名（会員22名、県外会員 0名、非会員 0名、賛助会員 0名、学生 0名、その他 0名）・申込総数：21名
共催、後援など	なし

2022.10.12

愛臨技學術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 5 年 12 月 4 日 報告者：伊藤 裕安

行事種別	研究会	行事番号	230016013
開催日	令和 令和 5 年 12 月 2 日(土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場 所	所在地 岩倉市生涯教育センター研修室 2		
テーマ	体外受精の基礎		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	常滑市民病院 明壁 均		
講 師	① Q&A ～素朴な疑問にお答えします／精液検査と人工授精を中心に～ 医療法人 稲垣婦人科 黒川 理菜 ② 「動画を利用した体外受精説明会の試み」と体外受精の作業内容 トヨタ記念病院 芦野 実咲		
内 容	【Q&A ～素朴な疑問にお答えします／精液検査と人工授精を中心に】 ① 大学で生殖補助医療教育を学ばずに胚培養士として働く人はまだまだいると思います。そういった人が生殖補助医療に携わることになったとき、どんなことを意識する必要があると思いますか？ ② ICSI 実施時、極体の形態によっては ICSI を実施しないことはありますか？ 前回の研究会にて回収した質問を中心に生殖医療に関わる疑問を 2 題 Q&A 方式で天川先生・長尾先生から教育現場からの意見と黒川先生の施設の現状を踏まえ解説していただきました。 受講者にとっては自施設と比べることができ興味深い講演で参考になったと思います。 【動画を利用した体外受精説明会の試み」と体外受精の作業内容】 患者説明から体外受精の実際についてご講演頂きました。 コロナ前の体外受精説明が対面から動画を用いた説明に変えていく過程と動画移行した事により良かった事などを発表していただきました。		
参加者	総数：19 名（会員 19 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）・申込総数：19 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12